



消防千葉

2018 No.560 平成30年4・5月号

平成30年5月1日 編集兼発行人
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅
TEL043(263)9885
郵便番号 260-0801
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



大波月海岸から望むロウソク岩（御宿町）夷隅支部

巻 頭 言

「消防防災体制の充実・強化を」

千葉県防災危機管理部長 石川 徹



消防職員、消防団員の皆様には、火災や風水害などの様々な災害から、地域住民の生命、身体及び財産を守るため、昼夜を問わず献身的に御尽力をいただいておりますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

さて、近年発生しました自然災害では、霧島山（新燃岳）や草津白根山の噴火をはじめとした全国的な火山活動の活発化、また、島根県での震度5強の地震などが記憶に新しいところであります。

また、火災についても、一昨年の新潟県糸魚川市のように大規模化、複雑化するなど消防を取り巻く環境は大きく変化しており、これまで以上に、消防に寄せられる期待は大きくなっています。

このような災害発生時の被害を最小限にするためには、県民が災害から自らを守る「自助」、近隣住民が協力しながら地域を守る「共助」、県や市町村等による「公助」が一体となって防災対策に取り組むことが重要です。

急速な高齢化の進展による人口減少社会の到来により、人的・財政的な資源が限られる中で、大規模火災、地震、豪雨、テロなどの様々な災害に備えるため、必要な消防力の維持・確保は喫緊の課題です。このため、県としましても引き続き、消防の広域化など常備消防体制の強化はもとより、地域防災力の中核となる消防団や自主防災組織の充実強化など、消防防災体制の整備に取り組んでまいります。

また、現在、建設中の「消防学校・防災研修センター」では、先進の訓練施設を活用し、消防職員、消防団員の実践的能力の向上を図るとともに、併せて自主防災組織や企業、県民の防災教育を実施することとしており、本県の消防防災力の向上に努めてまいります。

今後も、県民、事業者、自主防災組織などと一丸となり、地域防災力の向上を図るための施策を推進してまいりますので、消防関係の皆様方におかれましても、引き続き、地域住民の安全安心を守るため、一層の御尽力をお願い申し上げます。

結びに、消防防災体制の強化、消防行政のより円滑な推進のため、御指導御協力を賜りますようお願いするとともに、皆様方のますますの御健勝と御活躍を心から祈念いたしまして、就任の御挨拶とさせていただきます。

平成29年度 千葉県消防協会定時理事会・臨時評議員会の開催

平成30年度事業計画・収支予算等を議決

平成30年3月14日(水)午後4時から千葉県消防協会定時理事会が千葉市内で開催されました。石橋 毅会長の挨拶の後、平成29年度収支補正予算、平成30年度事業計画、収支予算など9議案について審議が行われ、全議案について理事会の議決を得、3月27日(火)午前11時から臨時評議員会で全議案とも原案どおり承認及び決議されました。

また、議決された議案等並びに平成30年度千葉県消防協会事業計画、主要行事予定等は次の通りです。

◆ 議 案 (定時理事会)

議案第1号：平成29年度(公財)千葉県消防協会
収支補正予算について

議案第2号：平成30年度(公財)千葉県消防協会
事業計画について

議案第3号：平成30年度(公財)千葉県消防協会
収支予算について

議案第4号：平成30年度(公財)千葉県消防協会
の資金調達及び設備投資の見込みを
記載した書類について

議案第5号：(公財)千葉県消防協会定款の一部変更について

議案第6号：(公財)千葉県消防協会修学奨励金等贈与規程の一部変更について

議案第7号：(公財)千葉県消防協会専務理事の選定について

議案第8号：(公財)千葉県消防協会常務理事の選定について

議案第9号：(公財)千葉県消防協会の臨時評議員会の開催について



定時理事会

◆ その他・報告事項

○平成30年度(公財)千葉県消防協会の主要行事予定について

○第26回全国消防操法大会について

平成30年10月19日(金)

会 場：富山県広域消防防災センター

出場順：小型ポンプの部 8番

○平成30年度少年消防クラブ全国大会について

平成30年8月1日(水)～3日(金)

会 場：浦安市運動公園陸上競技場 他

○第24回全国女性消防団員活性化滋賀大会

平成30年11月9日(金)～10日(土)

大会会場：「滋賀県立体育館

ウカルちゃんアリーナ」



臨時評議員会

平成30年度事業計画

(公財) 千葉県消防協会

近年、大規模な地球温暖化等の気候変動等の影響と思われる、集中豪雨・地震等の自然災害が多数発生しており、また、火山の噴火等もあり、日本各地において未曾有の災害の発生が続いております。東日本大震災の発生後も、熊本地震、鳥取地震などは記憶に新しいところであり、今後も首都直下型地震の脅威が指摘されるなど、大型の地震発生の危険性も懸念されるところです。

そこで、消防防災の要である常備消防及び消防団の一層の充実強化が求められており、平成25年には「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が制定され、改めて地域防災力の重要性が強調されています。当協会としては、同法の趣旨を踏まえて、時代に対応した総合的な消防防災対策の充実強化を図るとともに、消防組織の消防防災能力の向上を図るための事業及び消防職・団員の福利向上並びに弔慰救済等の相互扶助事業を実施します。

I 公益目的事業

1. 防災思想普及事業

県民一人ひとりが、常日頃から防災に対する関心と初期消火や応急救護等、適切な活動を身に付けられるよう、防災知識と技術の普及啓発、防災訓練の充実、防火組織の活動促進等を図る。

- (1) 機関紙「消防千葉」を発行し、消防防災活動への理解、協力を得るとともに、各地の常備消防・消防団の活動を掲載紹介し、県民の消防活動に対する理解を深める。年8回／各5000部発行。
- (2) 「千葉県消防操法」(第五次改訂版)を発刊・頒布し、千葉県消防操法の技術の向上に資する。
- (3) 千葉県と協力して、春秋2回の全国火災予防運動及び第39回九都県市合同防災訓練千葉大会会場訓練を実施する。(H.30.8.26勝浦市)
- (4) 火災予防思想の高揚を目指す千葉県少年婦人防火委員会及び地域の自主防災組織である婦人防火クラブ、幼年・少年消防クラブの活動を支援する。

ちなみに、少年消防クラブ全国大会が浦安市で開催予定である。(H.30.8.1～3)

2. 教育訓練事業

消防・防災能力の拡充のため、消防職・団員の知識・技能の向上、消防操法に関する普及、訓練成果の発表及び消防関係機関の協力、連携等を図る。

- (1) 消防団幹部の養成のため、消防団員指導員研修を実施するとともに、日本消防協会主催の各種研修会へ参加を促進する。
また、千葉県消防学校、千葉市消防学校及び消防大学校並びに日本消防協会への修学奨励のため、所定の課程を修了し又は卒業した者に対し、修学奨励金等を贈与する。
- (2) 消防知識の一層の普及、消防技術の向上のために県と共催で地区予選として支部操法大会を開催し、県消防操法大会への出場チームを選抜する。
- (3) 第54回千葉県消防操法大会を県とともに開催する。(H.30.7.28)
- (4) 総務省消防庁と日本消防協会が共催する第26回全国消防操法大会に参加するとともに、県代表チームに助成する。(H.30.10.19富山市)
- (5) 女性消防団員の活性化を図るため、県内女性消防団員の意向を踏まえ、千葉県女性消防団員活性化シンポジウムを平成29年度に引き続き開催する(H.30.11.28)こととし、併せて第24回全国女性消防団員活性化滋賀大会(H.30.11.9～10)に参加する。
- (6) 消防関係機関との連携、連絡調整、意見交換等のため、会議の開催等を行う。
ア. 県下市町村消防長・消防団長会議の開催(H.30.7.11～12)
イ. 日本消防協会・関東甲信地区消防協会等の各種会議への参加及び開催

3. 弔慰救済事業

郷土防災の使命を果たしてその職に殉じられた御霊を慰め、併せて防災思想の普及等を図るため、第54回千葉県消防殉職者慰霊祭を実施する。

なお、千葉県消防学校の移転に伴い、殉職者慰霊碑を市原市に移転する。

また、日本消防協会主催の第37回全国消防殉職者慰霊祭に参加する。(H30.9.13)

4. 報償事業

(1) 消防士気高揚等を図るため、消防防災に功労・功績のあったものに対し、消防協会長及び支部長による特別功労章、永年勤続功労章、功績章等の表彰を、千葉県消防大会及び消防出初式において行う。

5. 支部活動事業

協会の各支部においてそれぞれ次の各事業を実施する。

(1) 地区操法大会

各支部の管轄する市町村・事務組合の設置した消防団の操法大会を県と共催で地区予選として開催し、優勝チームを地区代表として県大会に出場させるため所要の支援を行う。

(2) 表彰事業

各所管区域の消防職・団員に対し出初式等において、優秀な消防職・団員を表彰し、その活動を顕彰する。

(3) 防災思想の普及事業

各所管区域の消防（局）本部・消防団と連携して、必要な防災思想普及を行う。

II 相互扶助事業

1. 消防団員等を対象とした共済事業及び健康増進事業

(1) 日本消防協会が実施している消防団員等福祉共済及び消防個人年金並びに全日本消防人共済会が実施している火災共済制度の事務処理を行い、各制度への加入を促進する。

(2) 消防団員の健康管理に資するため、健康増進機器等の交付及びスポーツ大会等の経費の一部を助成する。

2. 弔慰見舞事業

職務において死亡・障害者となった者などに対し、その崇高な活動に報いるため弔慰見舞金等を贈る。

3. 退職者報償事業

退職会員で在職中の功績が特に顕著な者に対し、その功績に報いるため感謝状及び金盃を贈る。

4. あっせん事業

消防職団員の福利厚生の実現を図るため、日本消防協会から提供される各種物品等に係る斡旋を行う。

III 収益事業

1. 施設貸与事業

千葉県消防会館の空き室を消防関係団体等に有償貸与する。

2. 千葉県消防協会会館建設改良

千葉県消防会館は、建設以来44年を経過しているため、適切に維持管理する。

IV 法人活動事業

(1) 千葉県や（公財）日本消防協会等の諸会議及び諸行事に出席し、情報収集、意見交換等を行う。

平成30年度（公財）千葉県消防協会主要行事予定

行 事 名		日 時	場 所
1	地域振興事務所等における消防事務連絡会議	4月11日(水)	千葉県自治会館
2	婦人防火クラブ連絡協議会監査	5月9日(水)	消防協会会議室
3	少年婦人防火委員会監査	5月17日(木)	消防協会会議室
4	婦人防火クラブ連絡協議会役員会	5月18日(金)	ポートプラザちば
5	消防協会監事会	5月22日(火)	消防協会会議室
6	定時理事会	5月25日(金)	ポートプラザちば
7	少年婦人防火委員会役員会	5月30日(水)	ポートプラザちば
8	関東甲信地区消防協会会議	6月7日(木)～8日(金)	群馬県
9	定時評議員会	6月12日(火)	ポートプラザちば
10	臨時理事会	6月12日(火)	ポートプラザちば
11	消防長・消防団長会議	7月11日(水)～12日(木)	鴨川ホテル 三日月
12	第54回千葉県消防操法大会	7月28日(土)	千葉県消防学校
13	平成30年度少年消防クラブ全国大会	8月1日(水)～3日(金)	浦安市
14	第39回九都県市合同防災訓練・千葉県会場	8月26日(日)	勝浦市
15	第37回全国消防殉職者慰霊祭	9月13日(木)	ニッショーホール
16	第54回消防殉職者慰霊祭	10月10日(水)	千葉県消防学校
17	消防職・団員定例表彰審査会	10月10日(水)	消防協会会議室
18	第26回全国消防操法大会	10月19日(金)	富山市
19	関東地区婦人防火クラブ研修会	10月23日(火)～24日(水)	ポートプラザちば
20	第24回全国女性消防団員活性化滋賀大会	11月9日(金)～10日(土)	大津市
21	消防団員指導員研修	11月24日(土)～25日(日)	千葉県消防学校
22	女性消防団員活性化シンポジウム	11月28日(水)	ポートプラザちば
23	臨時理事会	12月	千葉市内
24	婦人防火研修会	平成31年1月	千葉県消防学校
25	第71回日本消防協会定例表彰式	平成31年3月5日(火)	ニッショーホール
26	第69回千葉県消防大会	平成31年3月20日(水)	青葉の森芸術文化ホール
27	定時理事会	平成31年3月中旬	千葉市内
28	臨時評議員会	平成31年3月下旬	千葉市内

勲芳千歳**第68回千葉県消防大会開催**

平成30年3月23日（金）、千葉市中央区にある「青葉の森公園芸術文化ホール」において第68回千葉県消防大会が行われました。

この大会は、県下消防職員・団員の士気の高揚と消防防災体制の確立を図るため、千葉県、（公財）千葉県消防協会、千葉県少年婦人防火委員会の主催により毎年行われているものです。

当日は開会のことばに始まり、国歌斉唱、消防殉職者に対する黙とうに続き、森田千葉県知事、石橋消防協会長の挨拶、稲山消防庁長官や日本消防協会長（代理銀川部長）等の来賓祝辞の後、それぞれの表彰と叙勲や褒章等の受章者の紹介が行われました。

それぞれ受章された方、またご家族の方、誠にありがとうございました。

第68回千葉県消防大会受章者等一覧

表 彰 種 別	表 彰 者 数
消防庁長官定例表彰	功労章 3 名・永年勤続功労章 94 名
千葉県知事表彰	特別功労章 15 名、永年勤続功労章 60 名、内助功労 40 名 特別表彰 1 団体、感謝状（人命） 1 名
日本消防協会長表彰	功績章 34 名、精績章 82 名、勤続章 193 名
千葉県消防協会長表彰	特別功労章 10 名、永年勤続功労章 410 名、内助功労 321 名 功績章 33 名、表彰状 7 名、特別表彰 3 機関、感謝状 5 名
日本防火・防災協会長表彰	会長表彰 1 名
千葉県少年婦人防火委員会長表彰	優良幼年消防クラブ表彰 1 クラブ、優良少年消防クラブ表彰 1 クラブ、優良婦人消防クラブ表彰 1 クラブ
叙 勲 ・ 褒 章	春の叙勲 10 名、秋の叙勲 13 名、第 28 回危険業務従事者叙勲 32 名、第 29 回危険業務従事者叙勲 31 名、春の褒章 3 名、秋の褒章 4 名、文化の日千葉県功労者表彰 3 名、自治体消防七十周年記念表彰 4 団体



森田千葉県知事挨拶



石橋消防協会会長挨拶



稲山消防庁長官祝辞



小高千葉県議会議長祝辞



知事表彰（特別功労章）



協会長表彰（永年勤続功労章・感謝状）

第70回 日本消防協会定例表彰式

平成30年3月6日（火）、「第70回日本消防協会定例表彰式」が日本消防会館ニッショーホールで全国各地の消防団員、消防職員、消防協会関係者等の参加により執り行われました。

永年にわたる顕著な功績が認められ、特別表彰「まとい」10団を初め、特別功労章10名、優良消防団（表彰旗）38団、優良消防団（竿頭綬）94団、功績章957名、精績章2,273名、勤続章7,307名、優良婦人消防隊（表彰旗）16隊、優良婦人消防隊員（功績章）16名、都道府県消防協会等役職員永年勤続者表彰9名の表彰が行われました。



本県から石橋消防協会長をはじめ各消防団長、消防長が出席され、功績章34名、精績章82名、勤続章193名がそれぞれ受章しました。

自治体消防制度70周年記念式典

平成30年3月7日(水)、「自治体消防制度70周年記念式典」が総務省消防庁主催により国技館で天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、安倍内閣総理大臣をはじめ消防関係者約5,000人が参列し執り行われました。

昭和23年3月7日に消防組織法が施行され、市町村消防原則に基づく今日の自治体消防制度が確立して以来、来る30年3月には70周年を迎える。これを記念して、消防関係者をはじめ国民に広く我が国の消防の発展について回顧してもらうとともに、更なる国民の安心・安全を確保することを目的として記念式典が行われた。

式では野田総務大臣の式辞で始まり、内閣総理大臣の祝辞、衆議院議長、参議院議長の祝辞の後、消防功労者に対する内閣総理大臣表彰、総務大臣感謝状の贈呈、消防長官表彰、(公財)日本消防協会会長表彰等が行われた。



その後、消防音楽隊の演奏やカラーガーズ隊の演技が披露されました。千葉県からは小田山消防協会副会長をはじめ県内の消防長・消防団長等関係者が参列しました。



東 西 南 北

東 西
南 北

救急救命士再教育（プロトコール確認試験）を開催 船橋市消防局

船橋市消防局では、平成 29 年 12 月 5 日（火）から 12 月 8 日（金）まで、鎌ヶ谷市消防本部との合同研修で救急救命士再教育（プロトコール確認試験）を開催いたしました。

この研修は、これまで習得した技術の検証とプロトコールを正しく理解して法令違反等を防止することを目的として、平成 25 年度から毎年 1 回 MC 医師立会いのもと、指導救命士を中心として各特定行為プロトコールに関する筆記試験、口頭試問及び実技試験（シミュレーション）を実施しております。

各救急救命士は研修を通じ、プロトコールの再確認及び医療従事者としての自覚と技術の向上が図られました。

当市消防局では、今後も救急業務に携わる職員の教育、訓練を重ね、信頼される救急隊員の育成に取り組んでまいりたいと考えております。



東 西
南 北

一日消防署長委嘱状交付式及び防火キャンペーン実施

船橋市中央消防署

船橋市中央消防署（署長 石井 忠）では、平成 29 年 12 月 5 日（火）に一日消防署長の委嘱状交付式を実施しました。

今年は、船橋駅北口周辺の大規模小売店舗等によって構成された防火組織「船橋駅北口ビル共同防火管理協議会」より、イトーヨーカドー船橋店の鈴木美南（すずきみいな）さんが推薦されました。

一日消防署長となった鈴木さんは、火災発生危険が増える師走を歳末特別警戒期と捉え、中央消防署長と共に協議会加盟事業所を巡視し、火災予防を呼びかけ、消火・通報・避難についての連携等を確認しました。

さらに、東武鉄道船橋駅コンコースにおいて防火キャンペーンを展開し、防火ポスターなどの火災予防啓発物品を配布しました。

キャンペーンの最後には、一日消防署長と船橋市消防局音楽隊によるクリスマスコンサートも実施され、多くの人々が行き交う駅のコンコースには、音楽隊の演奏に足を止め聞き入っている人がたくさんいました。



東 西
南 北

職場体験と親子消防体験

流山市東消防署

流山市東消防署では、平成 29 年 12 月 7 日（木）8 日（金）に流山市立東部中学校の学生による職場体験が行われ、器具取扱訓練、救助訓練等を行いました。どの訓練にも元気よく臨み、疑問に思ったことはすぐに質問するなどとても意欲が感じられました。

12 月 10 日（日）に行われた親子消防体験では普段触れることのない消防車両や消防資機材の見学、放水体験、はしご車乗車体験等を行い親子一緒に楽しむことが出来ました。





一瞬で「全て」を失う不祥事を起こさないために… 不祥事防止研修を実施

千葉市消防局

千葉市消防局では12月7日(木)8日(金)の2日間に渡り、不祥事防止研修を行いました。これは、全国的に消防職員の不祥事が多発しており、今一度不祥事防止に対する意識を持ってもらうために開催しました。

本研修では、福岡市消防局や海外において救助隊・救急隊の活動経験をお持ちである『日本防災教育訓練センター』のサニー・カミヤ様をお招きし、消防職員に特化した視点から、不祥事防止に向けた取組みについてご教授いただきました。自分自身や同僚、部下職員が懲戒免職になった際の影響の大きさについて、真剣に考えさせられる講義となりました。



今後は、継続的に同様の研修を実施し、不祥事防止に向けた意識付けを全職員に浸透させ、再発防止に取り組んでまいります。



歳末消防長特別査察を実施

浦安市消防本部

浦安市消防本部では、12月22日(金)にホテル舞浜東京ベイで歳末特別査察を実施しました。市内宿泊施設では、国内外問わず、多くの人々が利用していることから災害発生時における人命危険が大きいといえます。

今回、査察を行ったホテルではロボットが働くホテルとして有名なホテル施設であり、年末年始に向け宿泊者が増加することが予想されます。そのため、施設における防火管理業務や、消防設備の維持管理が適正に行われているか、また災害発生時に避難の障がいとなる物品が置かれていないかなどを検査し人命危険を軽減するための活動を行っているか確認してきました。

査察の結果は、適正な状態で運営されていました。

今後も不特定多数の人が利用する施設や人命危険の大きい建物を中心に実施していきます。



大規模物品販売店舗の歳末特別査察を実施

松戸市消防局

松戸市消防局は、平成29年12月15日(金)クリスマスや年末で繁忙期を迎え多くの人でにぎわう大規模物品販売店である合同会社西友常盤平店の歳末特別査察を実施した。

査察は、渡邊仁志消防局長及び第三方面本部の岡野史明本部長が消防用設備等の維持管理、屋内消火栓設備の操作方法や避難通路の確保等を確認し、従業員が防火管理の重要性を再認識することを目的として行われた。

消防職員が、日頃から防火管理に取り組んでいる従業員に対して、火災発生時の対応確認を行ったところ、速やかに的確な行動ができ、消防職員の言葉に真剣な面持ちで耳を傾け「自分達の職場は自分達が守る」という自主防火管理の意識が、強く感じられた。



東西南北 外国語対応救急セミナーを開催 八千代市消防本部

八千代市消防本部では、平成 29 年 12 月 21 日（木）に、八千代市内に居住または就業する外国人の増加や、2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、外国人傷病者に対する救急事案の増加が見込まれることから、救急活動に特化した外国語の習得と、ジェスチャーを交えたコミュニケーション能力の向上を目的として、市教育委員会 ALT の方々の協力を得て、「外国語対応救急セミナー」を開催しました。今後も外国人が安心して救急車を利用できる環境を整備してまいります。



東西南北 災害救助犬との合同訓練を実施 銚子市消防本部

銚子市消防本部では、平成 29 年 12 月 23 日（土）、解体中の建物を利用して銚子市では初めてとなる災害救助犬チームとの合同訓練を行いました。

本訓練は、災害救助犬チーム S.A.R.D. のハンドラー7名及び災害救助犬 5 頭、地元千葉科学大学学生消防隊（銚子市消防団第 11 分団員含む）10 名、当市消防署救助隊員約 10 名が集まり、災害救助犬の優れた嗅覚を活かして、要救助者の早期発見及び迅速な救助活動、双方が行う活動の流れを確認することを目的に実施しました。

今後もお互いの長所を生かし、訓練を重ねて行く中で、情報共有を図るとともに、顔の見える関係を築き、いざという時に円滑な救助活動が行えるよう、研究して参ります。



東西南北 交通事故防止対策研修会を実施 千葉市消防局

千葉市消防局では、平成 30 年 1 月 15 日（月）、16 日（火）の 2 日間、交通事故防止対策研修会を開催しました。

この教育は、交通事故防止の意識向上及び消防ポンプ自動車の運用に関する知識・技術を習得することにより、交通事故撲滅を目的として開催しました。

講師として、千葉市財政局資産経営部管財課及び日本ドライケミカル株式会社の猪熊和良氏を招き「交通安全研究」、「ポンプ運用方法」のテーマで講義をして頂きました。

受講者から「事故発生時の対応要領やポンプ運用時の注意点などを知ることができ、とても有意義な研修会となりました。」との声を頂きました。



東 西 南 北 少年消防クラブ員が講師になり普通救命講習を実施

松戸市消防局

松戸市で高校生として初めて、応急手当普及員に認定された少年消防クラブ員が講師となり、新規入会した女性防火クラブ員に対し、普通救命講習を実施した。

応急手当普及員とは、24時間の専門的な講習を受講することで、事業所の従業員や防災組織の構成員に対して普通救命講習の指導ができる資格を有する者です。

講師として初めての指導で最初は戸惑いも見られましたが、講習で得た知識と技術を駆使し、精一杯指導していました。



東 西 南 北 千葉県国民保護共同実動訓練を実施

千葉市消防局

千葉市では、平成30年1月24日(水)に東京2020オリンピック・パラリンピックの競技会場となる「幕張メッセ(千葉市美浜区)」を主会場に「平成29年度千葉県国民保護共同実動訓練」を行いました。

本訓練は、政府(内閣官房)、千葉県及び千葉市の主催によるもので、国際スポーツイベント開催中に屋内の観客席において化学剤(サリン)が散布され、多数の死傷者が発生したとの想定により行われました。

当局からは、NBC災害対応部隊として、指揮隊、特殊災害対応車隊(HAZMAT)及び大型除染システム搭載車隊など、33隊128人が参加したほか、県警や自衛隊など約50機関から合計約1,000人が参加し、現地調整所において各機関の活動内容の確認や情報共有を行い、効果的な活動を展開するなど、更なるテロ等特殊災害対応能力の向上並びに関係機関との連携強化が図られました。



東 西 南 北 『将来の機関員を目指せ!』安全運転講習会を実施!

柏市消防局

柏市消防局では、平成30年1月22日(月)・29日(月)、2月5日(月)の3日間、市内の自動車教習所の敷地を借用し、若年層職員に対する安全運転講習会を実施しました。

本講習会は、職員の大量退職に伴い機関員の世代交代が進み、機関員養成が急務となっていることから開催した講習会であります。

柏市消防局では、今後も安全運転講習会を開催し、迅速、安全に現場到着できるよう運転技術の向上を目指し、機関員の育成に取り組んでいきます。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

平成 30年 5・6月

- 5月 18日 千葉県婦人防火クラブ連絡協議会役員会(千葉市)
 22日 千葉県消防協会監事会(千葉市)
 25日 千葉県消防協会定時理事会(千葉市)
 30日 千葉県少年婦人防火委員会役員会(千葉市)
- 6月 12日 千葉県消防協会定時評議員会(千葉市)
 千葉県消防協会臨時理事会(千葉市)



平成30年度 全国統一防火標語
「忘れてない? サイフにスマホに 火の確認」

<表紙の説明>

大波月海岸から望むロウソク岩（御宿町）夷隅支部

童謡「月の沙漠」のモデルとなった美しい海岸を有する御宿町。

町には数箇所の海岸がありますが、中でも絶景が眺める秘境、^{おおはづき}「大波月海岸」を紹介いたします。

100mにも満たない海岸ですが、多くの画家や写真家が訪れており、自然が創り出した勇壮な景観は天の川の写真撮影や朝日・夕日の撮影スポットとしても有名です。四季折々、日々景色が変わると評判の絶景をお楽しみください。

なお、ご来場の際は、一部、浸食の激しいところがあるため、十分にご注意ください。

